



こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子

です

事務所 中延 2-11-7 Tel.3783-8833
区議団控え室 (品川区役所内) Tel.5742-6818

このニュースについてのご意見、ご要望をお寄せください。

基金ため込み23億円 一人当たり3万3000円



「とりすぎた保険料は高齢者に返して！」

介護保険料の値下げを

3年ごとに見直す介護保険。品川区が09年度から3年間の第4期事業計画案、それに基づく保険料を発表。基準額は3900円で据え置きました。基金は23億円余。取りすぎた保険料は、65歳以上の人に返すべきです。値下げは十分可能です。

基金 65歳以上の保険料が余って積み立てたもの

介護保険制度が始まって9年、品川区がこの間ため込んだ基金は23億円余に上ります。この基金は、65歳以上の人から徴収した保険料が、余ってしまった積み立て続けてきたものです。余った原因は、保険料を高く設定したこと、サービスを抑制したことです。

基金ため込みは23区で2番目

基金のため込みは65歳以上の高齢者ひとり当たり3万3000円余。23区で北区に次いで2番目のため込みです。北区は基準額月4287円から3469円に引き下げるとしています。

品川区も保険料の値下げは十分可能です！

品川区は、基準額3900円で第3期と同額。基金を9億円取り崩し、4300円から3900円に据え置くとしています。

厚生労働省は保険料設定の考え方を①基金は必要最低限を除き、

保険料の引き下げに当てるように②負担能力に応じたより決め細やかな段階及び保険料率とすることと述べています。

品川区のひとり当たり基金残高は、23区でトップとなります。取り崩し額を増やして値下げすべきです。さらに、所得が300万円未満で保険料は最高額。所得が何千万円あろうと300万円の人と同じ保険料です。隣の港区は2000万円未満で最高額です。高額所得者の負担能力に応じた保険料とすれば全体を引き下げることが出来ます。裏ページグラフのように負担増は大変です。保険料値下げで負担軽減こそ必要ではないでしょうか。

無料

法律・生活相談会

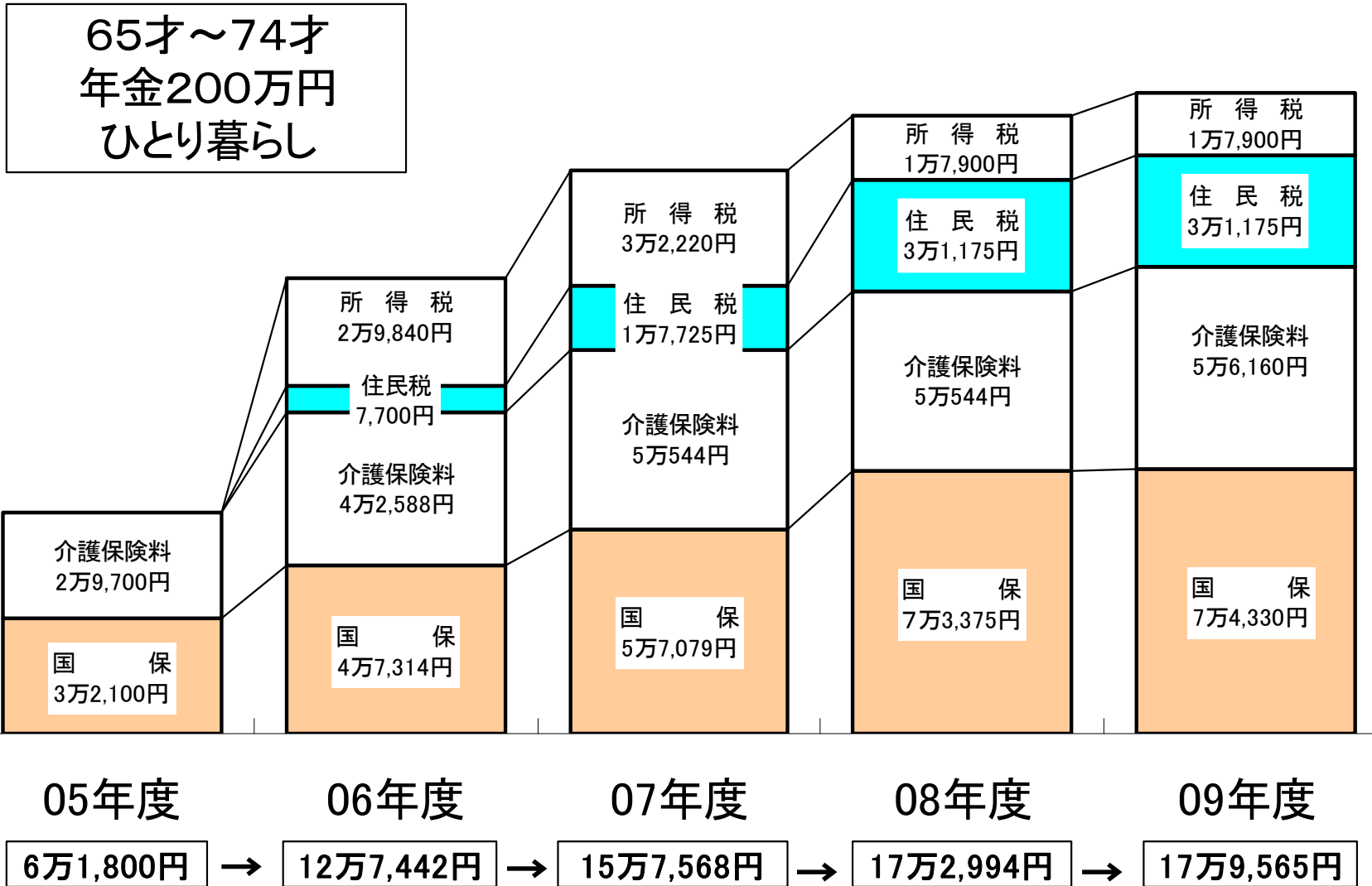
3月23日(月)
午後6:30~

鈴木ひろ子事務所

中延2-11-7
Tel.3783-8833
弁護士さんが対応します。

税制改定による、雪だるま式負担増 (介護保険、国保料、住民税、所得税)

2009年2月
日本共産党品川区議団作成



自民・公明が国会で通した年金への税制改定（老年者控除と高齢者の非課税措置の廃止、年金控除の減額）で、2006年度より、それまで所得税・住民税が非課税だった方が課税となりました。さらに介護保険料と国保料に連動し、負担は雪だるま式に増えていきます。左グラフをご覧ください。年金200万円（年額）のひとり暮らしの方の場合、約3倍ものとてもない負担増です。